

29 街路事業の推進について

(国土交通省関係)

要望内容

財政措置

- 1 連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進
JR山陽本線・呉線（東部地区連続立体交差事業）
- 2 防災や安全・円滑な交通の確保等に資する無電柱化の推進
（無電柱化推進計画支援）
東雲大州線ほか1路線
- 3 緊急輸送道路における無電柱化の推進（防災・安全）
霞庚午線
- 4 通学路等における交通安全対策の推進（防災・安全）
長束八木線（3工区）ほか3路線
- 5 安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（2期）
（防災・安全）
駅前線ほか3路線
- 6 都市基盤となる骨格道路等整備（2期）
中筋温品線ほか3路線
- 7 鉄道駅周辺の安心・安全な歩行空間の整備（防災・安全）
西広島駅南北自由通路等

（要 旨）

本市では、安全・安心な市民生活の確保や経済活動の活性化を図るため、市街地の骨格を形成する都市基盤施設である街路の整備を推進しています。

街路事業の実施に当たっては、交通の円滑化や踏切の安全確保などを図る連続立体交差事業、防災や安全・円滑な交通の確保等に資する無電柱化及び完成間近の路線の優先的整備など、「選択と集中」の観点から、整備効果の高い路線について重点的な取組を進めています。

つきましては、これら街路事業の着実な推進のための財源確保について、格別の御配慮をお願いいたします。

(参 考)

街路事業の概要

区 分	事業期間	事業区間 延長	道路幅員	総事業費	令和元年度 末の進捗率 (見込み)	令和2年度 以降 降 残事業費
連続立体交差事業による安全・安心な地域づくりの推進						
J R 山陽本線・ 呉線（東部地区 連続立体交差事 業）	平成5年度～ 令和20年代前半	(全体) 5,000m (市域) 1,925m	—	(全体) 915億円 (市域) 370億円	12.2%	324億9,200万円
※ 事業費には関連街路分を含んでいる。						
防災や安全・円滑な交通の確保等に資する無電柱化の推進（無電柱化推進計画支援）						
東雲大州線ほか1路線	平成20年度～ 令和1桁代後半	590m	25～27m	79億円	73.0%	21億3,500万円
緊急輸送道路における無電柱化の推進（防災・安全）						
震 庚 午 線	平成10年度～ 令和1桁代後半	1,360m	30m	172億円	87.1%	22億2,200万円
通学路等における交通安全対策の推進（防災・安全）						
長 東 八 木 線 (3工区)	平成14年度～ 令和1桁代前半	1,030m	22～25m	48億円	96.1%	1億8,800万円
長 東 八 木 線 (4工区)	平成29年度～ 令和1桁代後半	480m	22～25m	31億円	8.3%	28億4,300万円
矢 野 中 央 線	平成27年度～ 令和1桁代後半	366m	17m	21億円	34.4%	13億7,200万円
畑口寺田線ほか1路線	平成27年度～ 令和1桁代後半	880m	16～18m	33億円	15.1%	28億200万円
安全・安心なまちづくりを推進する道路等の整備（2期）（防災・安全）						
駅 前 線	平成8年度～ 令和1桁代前半	977m	14m	42億円	58.7%	17億3,500万円
花 都 川 線	平成9年度～ 令和1桁代後半	320m	16m	16億円	43.7%	9億100万円
山 の 手 線	平成9年度～ 令和1桁代後半	1,050m	18m	57億円	23.6%	43億5,800万円
青 崎 中 店 線	平成5年度～ 令和20年代前半	1,466m	16m	48億円	57.3%	20億4,800万円
都市基盤となる骨格道路等整備（2期）						
中 筋 温 品 線	平成12年度～ 令和1桁代後半	2,070m	14～47m	236億円	44.2%	131億7,000万円
矢賀大州線ほか1路線	平成8年度～ 令和1桁代前半	1,000m	20～51m	144億円	96.2%	5億4,800万円
吉島観音線ほか1路線	平成7年度～ 令和1桁代後半	1,190m	20～30m	86億円	89.9%	8億6,700万円
段原蟹屋線ほか1路線	平成7年度～ 令和1桁代前半	633m	25～32m	73億円	94.4%	4億1,000万円
鉄道駅周辺の安心・安全な歩行空間の整備（防災・安全）						
西広島駅南北自由通路	平成23年度～ 令和1桁代前半	110m	8m	56億円	14.7%	47億7,800万円
西広島駅南口駅前広場	平成30年度～ 令和1桁代前半	3,180㎡	—	2億円	8.5%	1億8,300億円